


講師紹介

	ニッタセツコ	
講師名	新田 節子	
所属・役職	食育推進ネットワーク福岡・講師	
肩書	子育て食育アドバイザー	

プロフィール

1942年北九州市生まれ。銀行員を経て保育士になり4人の娘を育てながら保育現場で“人間づくり”の実践を25年余り続ける。福岡県教育アドバイザーなどを経て2001年より“エプロンくらぶ（福岡市まちづくり推進事業）”代表。現在、子育て食育アドバイザーとして保育園、幼稚園、小学校、中学校、公民館などで、食のみでなく人間丸ごと、暮らし丸ごと、環境丸ごとに視界を広げた“考える食育活動”を展開中。

想い

食といえはすぐ栄養とカロリーとかお皿の上のことに思いがちですが、そもそも自分のからだのことをまず知らなくては健康は保てません。長い間受け継がれてきた日本人の体質を無視して、美味しいから、楽しいからと、いくら栄養豊富でも食べ続けると後悔することに。

微生物、ミネラル、食物繊維、学校で習わなかったこれらの大切なものが、昔からの和食にみんな含まれています。誇りをもっともっと和食を取り入れましょう。

食べるものを自分でつくるといろいろなことに気づき生まれます。

さらに自分で育ててみると自然の偉大さに多くを学びます。

ストレスも心とからだがいかに関係が深いかわかって病気になるって気づきます。

精神的なものといえば、一番大切なもの、今、忘れがちなもの、それは“感謝すること”です。

元気に生きさせてもらっていることに感謝することを何よりも忘れてはなりません。

感謝、感謝です。心を込めて「ありがとう」「いただきます」

これからも、もっともっと学ぶことがいっぱいあります。

実績

講演

小学校 6年生授業、5、6年生と保護者
中学校 校長、給食担当
幼稚園 保護者、近隣の住民
保育園 保護者、職員、
公民館 子育て保護者、高齢者、婦人クラブ
生協 県内学習サポート
婦人会館

書籍

ピースランド（福岡県市長村職員共済組合）「大人の食育」2年間連載
食育おばあちゃんたちといっしょに、Ⅰ，Ⅱ

講演・セミナーのタイトルと内容（複数可）

食を通して育てたい力・・・食育が人間力を育てる
食といのちのほんとうの関係
食の近代史
健康問答
食事とは信頼関係を食べること
心で食べる
入れる健康法から出す健康法へ
食の温故知新
食べ方は生き方
食育改善健康法
こころと体の元気づくり
賢い子どもは昔ごはんて育つ
日本人の食育はまず和食文化を学ぶこと